

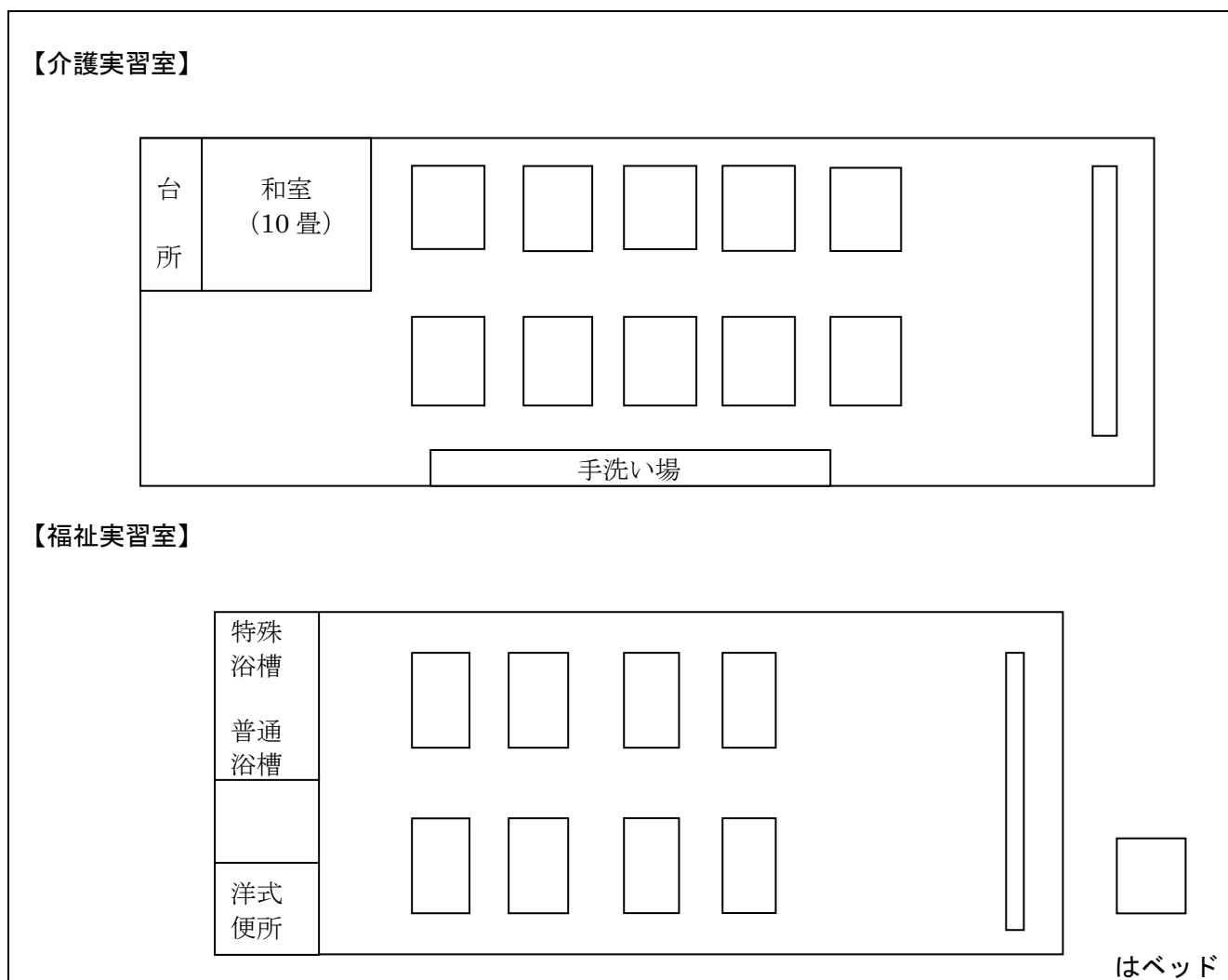
総合生活支援技術演習計画書

1 実施方法

週 4 時間の生活支援技術の時間に、介護技術演習を、2～3人のグループに編成し、介護実習室にて実施する。

2 演習実施会場

平面図（主な使用備品を配置し、施設、居室等を想定した会場の状況を平面図にしてください。）



3 主な使用備品（数量）

- | | | | |
|-----------|------|----------------------|--------|
| ・ベッド（電動等） | 2 台 | ・パジャマ、寝間着 | 各 20 着 |
| ・車いす | 14 台 | ・その他 1（テレビ、ちゃぶ台、タンス等 | ） |
| ・ポータブルトイレ | 10 台 | ・その他 2（タオル、洗面器等 | ） |
| ・寝具 | 1 組 | | |

4 想定事例とタイムスケジュール

(1) 1グループあたりのタイムスケジュールについて

手順・留意点の確認、デモンストレーション	1時間
2～4人1組で、1つのベッドを使用し実技練習	2時間
振り返り	1時間

(2) 想定事例について

<想定事例1>

ア 事例内容（利用者のプロフィール(生活歴、家族歴、既往症など)、サービス提供の内容等）

課題1. Aさん（女性、75歳）は、右半身に麻痺があります。現在、昼食を終え、車いすに座ってロビーで休憩しています。居室に移動し、衣服を着替え、ベッドに横になってもらってください。

イ 学習目標（学習するポイント）

- ・体調の安全管理と声かけ
- ・衣服の着脱介助の方法
- ・プライバシーの保護

<想定事例2>

ア 事例内容（利用者のプロフィール(生活歴、家族歴、既往症など)、サービス提供の内容等）

課題2. Bさん（男性、80歳）は、左半身に麻痺があります。現在、体調を崩しベッドで休んでいます。本人より尿意が訴えられています。排せつの介助をしてください。

イ 学習目標（学習するポイント）

- ・体調の安全管理と声掛け
- ・ポータブルトイレによる排泄介助の方法
- ・プライバシーの保護

』

(3) 想定事例のタイムスケジュール

想定事例1（所要時間： 7分 ）

想定事例2（所要時間： 5分 ）